



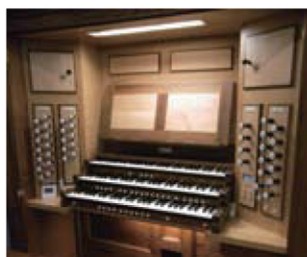
## 立教学院諸聖徒礼拝堂の新パイプオルガンが完成しました



立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）に英国Tickell（ティッケル）社製のパイプオルガンが完成しました。

このパイプオルガンは、イギリス・ロマン派様式で、3段の手鍵盤を備えています。下の2段は多彩な音色の8フィート・ストップ、3段目は他のパイプより風圧の高いソロ・ストップで、ロマン派様式の豊かな組み合わせの音色を響かせます。足鍵盤は、16フィートのパイプ群で構成されており、全体の響きを支えます。

また、聖パウロ礼拝堂（新座チャペル）では、9月中旬に米国Fisk（フィスク）社製のパイプオルガンの部品が到着し、10月現在、組み立て作業はほぼ完了しました。現在は、整音作業が進められており、2014年3月上旬に完成の予定です。進捗状況は、パイプオルガンリニューアルサイトでお知らせします。



コンソール  
(演奏台)部分



オルガン正面  
のエンブレム